

令和8年度 角田市営関ノ内住宅改修工事

I N D E X

意 匠		意 匠		電 気	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-00	表紙 INDEX	A-13	(改修後) 立面図15号棟	E-01	電気設備改修工事特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書 (1)	A-14	(改修前・後) 矩計図 (1)	E-02	案内図・団地配置図
A-02	改修工事特記仕様書 (2)	A-15	(改修前・後) 矩計図 (2)	E-03	電灯幹線設備図 14～15号棟
A-03	改修工事特記仕様書 (3)	A-16	(改修前・後) 雑詳細図 (1)	E-04	住戸コンセント設備図
A-04	工事区分	A-17	(改修前・後) 雑詳細図 (2)	E-05	電灯幹線設備図 13～15号棟(撤去)
A-05	案内図・団地配置図				
A-06	配置図				
A-07	(改修前・後) 仕上表 / (既存) 建具表				
A-08	(改修前・後) 平面図14～15号棟				
A-09	(改修前・後) 屋根伏図				
A-10	(改修前) 立面図14号棟				
A-11	(改修後) 立面図14号棟				
A-12	(改修前) 立面図15号棟				

角田市産業建設部都市計画課

株式会社 構建築設計事務所

3	防水改修工事	新設防水層（屋根露出防水工法）の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料 種類 使用量</th><th>断熱材</th><th>備考</th></tr><tr><td>・M4C</td><td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○M3D ・POD</td><td>○D-1同等 ・D-2</td><td>屋上</td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ○有 ・無 改修用ドレン ○有 ・無</td></tr><tr><td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td><td>・D1-1 ・D1-2</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td>※3.3.2(9) 種類 厚さ</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.7～表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定（個） 屋内防水 防水層の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・P1E ・P2E</td><td>・E-1 ・E-2</td><td></td></tr></table> 保護層 ・設ける（※図示による） ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・屋上排水溝 ※図示による	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ※製造所の仕様			○M3D ・POD	○D-1同等 ・D-2	屋上	・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ○有 ・無 改修用ドレン ○有 ・無	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様	※3.3.2(9) 種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	改修工法	種別	施工箇所	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		6. 合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料 種類 使用量</th><th>断熱材</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・S-F1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POS ・S4S</td><td>・S-F2 ・S-M1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・S-M2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・S-F1</td><td>・プレキャスト コンクリート下地</td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr><tr><td>・S3S</td><td>・S-F2</td><td>・プレキャスト コンクリート下地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M4S</td><td>・S-M1 ・S-M2</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr><tr><td></td><td>・S-F1</td><td>・プレキャスト コンクリート下地</td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td>3.5.2(3)(i)(b) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td><td>・S-F2 ・S-M1</td><td>・プレキャスト コンクリート下地</td><td></td><td>3.5.2(3)(i)(a) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・S-M2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 <table><tr><th>種別</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr><tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下</td></tr></table> 平場の保護モルタル床塗りににおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ※押し目地 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ mm以上 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様（ ）個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う（・図示による） プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（・図示による） ・行わない 新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>仕上塗料 使用量</th><th>備考</th></tr><tr><td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>○L4X</td><td>※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H</td><td></td><td>・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様</td><td>脱気装置 ・有 ・無</td></tr></table> ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様（個） 新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr><tr><td>・P1Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）</td></tr><tr><td>・P2Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）</td></tr></table>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考		・S-F1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POS ・S4S	・S-F2 ・S-M1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様				・S-M2						・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地	・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・S3S	・S-F2	・プレキャスト コンクリート下地				・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無		・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地	・製造所の仕様 ※製造所の仕様	3.5.2(3)(i)(b) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F2 ・S-M1	・プレキャスト コンクリート下地		3.5.2(3)(i)(a) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50			・S-M2					種別	種別	施工箇所	保護層	・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下	改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 使用量	備考	・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	○L4X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無	改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）	⑧ シーリング	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない施工箇所 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 といその他の材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレンドレン ・表面処理鋼板 ○カラー硬質塩化ビニル管 とい受金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4.5以上（とい径100を超えるもの） 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による 足金物 材種 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による ルーフトレンドレンの種類及び呼び <table><tr><th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ろく屋根用たて形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td><td></td></tr><tr><td>・ろく屋根用横形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・差し込み式 ・50 ・75 ・100</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・差し込み式 ・50 ・75 ・100</td><td></td></tr></table> たてどい受金物の取付け ※図示による ルーフトレンドレンの取付け ○水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する 種類 ・押出形材形（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・板材折曲げ形（ ・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ）mm） 表面処理 種別（ ）種 色合等 ・標準色（ ） ・特注色（ ） 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示による ） ・行わない 下地補修の工法 ※図示による 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名のうえ、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	施工箇所	シーリング材の種類（記号）					種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100			・差し込み式 ・50 ・75 ・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100			・差し込み式 ・50 ・75 ・100		⑨ とい	<3.8.2、3>	⑩ アルミニウム製笠木	<3.9.2、3>	⑪ 防水保証
		改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考																																																																																																																																																																
		・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ※製造所の仕様																																																																																																																																																																		
		○M3D ・POD	○D-1同等 ・D-2	屋上	・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ○有 ・無 改修用ドレン ○有 ・無																																																																																																																																																																
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様	※3.3.2(9) 種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																		
改修工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																																					
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2																																																																																																																																																																						
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考																																																																																																																																																																		
	・S-F1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																		
・POS ・S4S	・S-F2 ・S-M1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様																																																																																																																																																																				
	・S-M2																																																																																																																																																																						
	・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地	・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																		
・S3S	・S-F2	・プレキャスト コンクリート下地																																																																																																																																																																					
・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																		
	・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地	・製造所の仕様 ※製造所の仕様	3.5.2(3)(i)(b) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																		
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F2 ・S-M1	・プレキャスト コンクリート下地		3.5.2(3)(i)(a) 種類 厚さ(mm) ・25 ・50																																																																																																																																																																			
	・S-M2																																																																																																																																																																						
種別	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																				
・P1S	・S-C1		平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下																																																																																																																																																																				
改修工法	新設種別	施工箇所	種類	仕上塗料 使用量	備考																																																																																																																																																																		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																			
○L4X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																			
改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																			
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）																																																																																																																																																																			
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・保護モルタル ・保護コンクリート 厚さ（ mm）																																																																																																																																																																			
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																																																						
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																					
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																						
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																						
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																						
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																						
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																						
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																						
5.	改質アスファルトシート防水	新設防水層（屋根露出防水）の種類 <table><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料 種類 使用量</th><th>断熱材</th><th>備考</th></tr><tr><td>・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・M3AS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・POAS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td></td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td></tr><tr><td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td><td>・AST-T1 ・AST-J1</td><td></td><td>・製造所の仕様 ※製造所の仕様</td><td>3.4.2(3)う 種類 厚さ</td><td>脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td></tr></table> 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定（個） 絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様			・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AST-T1 ・AST-J1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様	3.4.2(3)う 種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	②. 塗膜防水																																																																																																																																						
		改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	断熱材	備考																																																																																																																																																																
		・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ※製造所の仕様																																																																																																																																																																		
		・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																		
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AST-T1 ・AST-J1		・製造所の仕様 ※製造所の仕様	3.4.2(3)う 種類 厚さ	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																		
新設防水層の種類																																																																																																																																																																							

4-2

外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

2. 欠損部改修工法

・充填工法

材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		図示による
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数
・現場調査材料			図示による
・既調査材料			

・現場調査材料
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
・既調査材料 ()

既製目地材
・使用する (形状 ・図示による)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

3. 浮き部改修工法

工法の種類	アンカーピン本数 (本/㎡)	注入箇所数 (箇所/㎡)	注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16
・充填工法	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度

注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00

充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法用材料
・現場調査材料
(セメントは改修特記仕様書8章8-2 コンクリート工事による)
・既調査材料 ()

既製目地材
・使用する (形状 ・図示による)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

1. タイルの形状寸法等

タイルの形状、寸法等										<4. 4. 5、8>			
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐滑		
			I 類	II 類	Ⅲ類	施す	無						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

目本焼き
・行う (施工箇所：) ・行わない

試験張り
・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない

2. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	・130	図示による
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70	
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130	

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

5. 目地改修工法

①. 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

工法	処理範囲	下地面の補修
○サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ○図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
○高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル

新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	防火材料	
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・	
	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		
	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り		
	○ゆず肌状 ・さざ波状	○ローラー塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・	
	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り		
	・外装薄塗材S	・砂壁状 ・吹付け		・

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上りの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・
	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

②. 下地調整塗材

<4. 5. 2>

③. 仕上塗材仕上げ

<4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1>

4-5

外壁改修工事

建具改修工事

1. 改修工法

<5. 1. 3、6>

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による
・樹脂製建具	—	・	・建具表による
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による
・鋼製軽量建具	・内部	・	・建具表による
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による
・木製建具	・	・	・建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による

新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・再使用 (・ブラインドボックス)

2. 防火戸

・指定する 適用箇所 (・建具表による)

<5. 1. 4>

・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・連動させる 適用箇所 (・建具表による)

・連動させない

3. 見本の製作等

建具見本の製作

・行う (建具符号：)

<5. 1. 5>

※行わない

建具見本製作の目的等： ()

特殊な建具の仮組

・行う (建具符号：)

※行わない

4. 防犯建物部品

・適用する (・建具表による)

<5. 1. 7>

※適用しない

宮城県角田市角田字大坊41

電話 0224-63-0138

FAX 0224-63-4863

角田市産業建設部都市計画課

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工 事 名 称

令和8年度 角田市営関ノ内住宅改修工事

全 業

図面 No

A-03

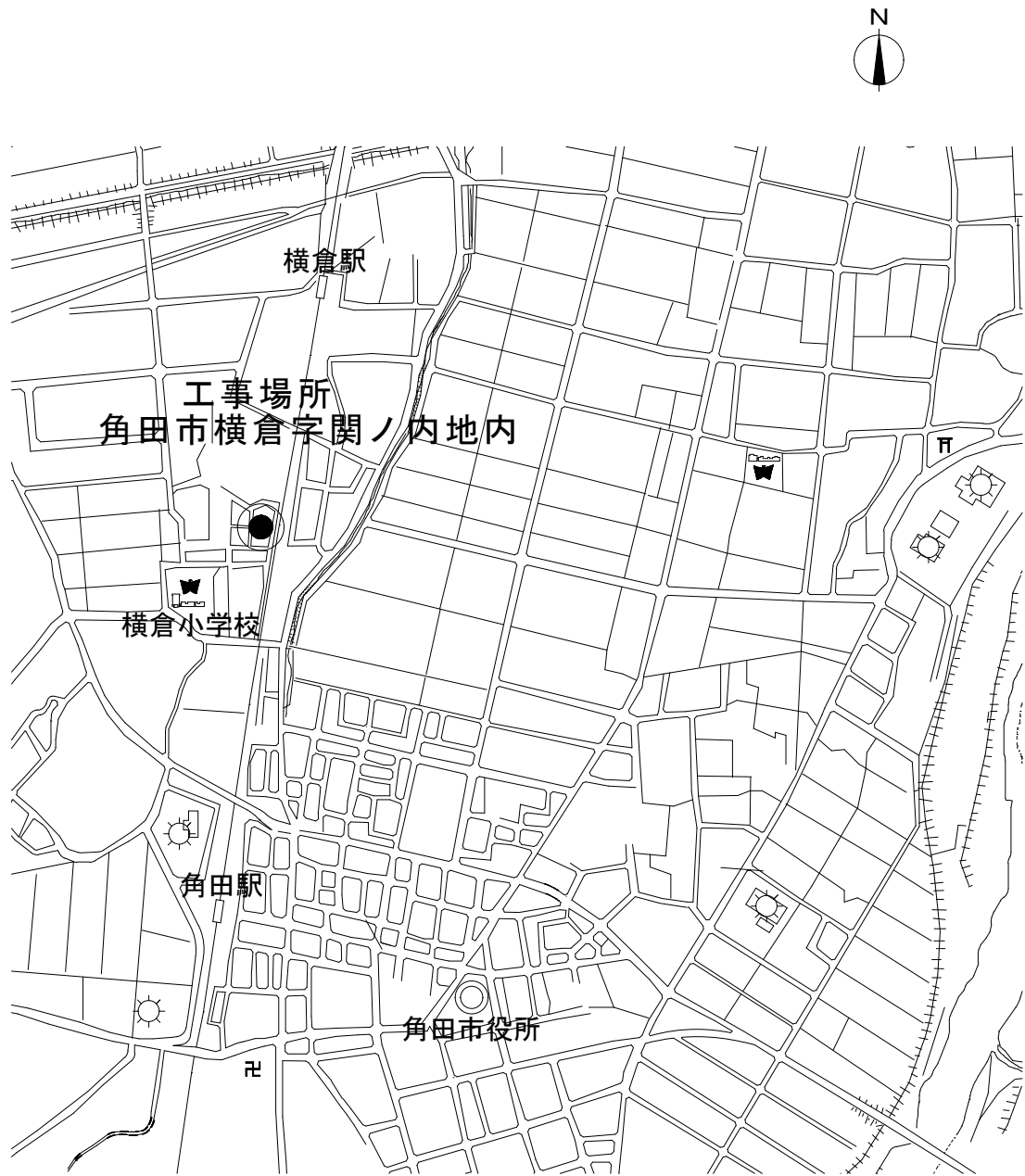
図 面 名 称

Scale

特 記 仕 様 書 (3)

各工事の区分表												
工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考					
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○		各工事に必要な1-7は各々の工事とする（予備は建築工事）					
同上貫通の開口補強	○											
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○							
工場製作間仕切及び同定の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強												
天井付各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強・補修	※	○	○	○			※下地補強のみ建築					
設備関係諸室のシンダーコンクリート	○											
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○											
同上 仕上（防水）	○											
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ、埋込み		○	○	○								
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※					※煙感からの信号、1次配線					
台所用レンジフード及び浴室天井扇及び取付調整			○				ユニットバス除く					
同上ダクト接続				○								
同上電源用配管、配線及び接続		○										
ユニットバス（ユニットバス含む以下同じ）差出し及び据付工事	○											
浴槽及び据付	○						浴槽パン共建築工事					
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○											
同上廻りシーリング打ち	○											
同上への配線及び配管接続		○	○				※1次側のみ					
キッチンキャビネット及び据付工事	○											
同上への配管接続			○									
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	○											
同上への照明用電源配線及び接続		○										
洗面台及び据付			○									
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○											
同上配管接続			○									
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○										
洗濯パン			○									
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			○	○								
ダクト用ベントキャップ及び取付				○								
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○						設備壁用扉は各設備工事					
換気扇及び取付枠への取付、配線		※		○			※配線は電気					
換気扇取付枠及び躯体への取付				○								
床暖房工事	※1	※2	※2				※1仕上げは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による					
非常用照明及び誘導灯		○										
消火器			○									
同上表示及び収納箱	○											
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部のシーリング打ち		○	○	○								
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック	○											
エレベーター出入口三方枠・扉上部扉板					○							
三方枠廻りのノロ詰め					○							
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事	○											
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○											
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○											
壁樋、ドレン、受け樋	○											
壁樋から第一軒までの接続	○											
同上第一軒以降の排水設備（側・側溝等）						○						
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）					
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事		○										
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調					
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○	※照明器具の設置及び配線					
自転車置場（屋外）						○						
同上照明器具及び接続			○									
プロパンボンベ庫	○	※	※									
同上配管工事			○									
便所の目皿、手洗い	○						便器一体の手洗い除く					
便所のペーパーホルダー			○									
手洗い乾燥機			○									
浄化槽・受水槽・オイルタンク 躯体	※		○				※特殊基礎は建築工事					
屋外駐車場、歩道工事						○						
雨水排水側溝設置工事						○						
同上排水管接続			○									
</												

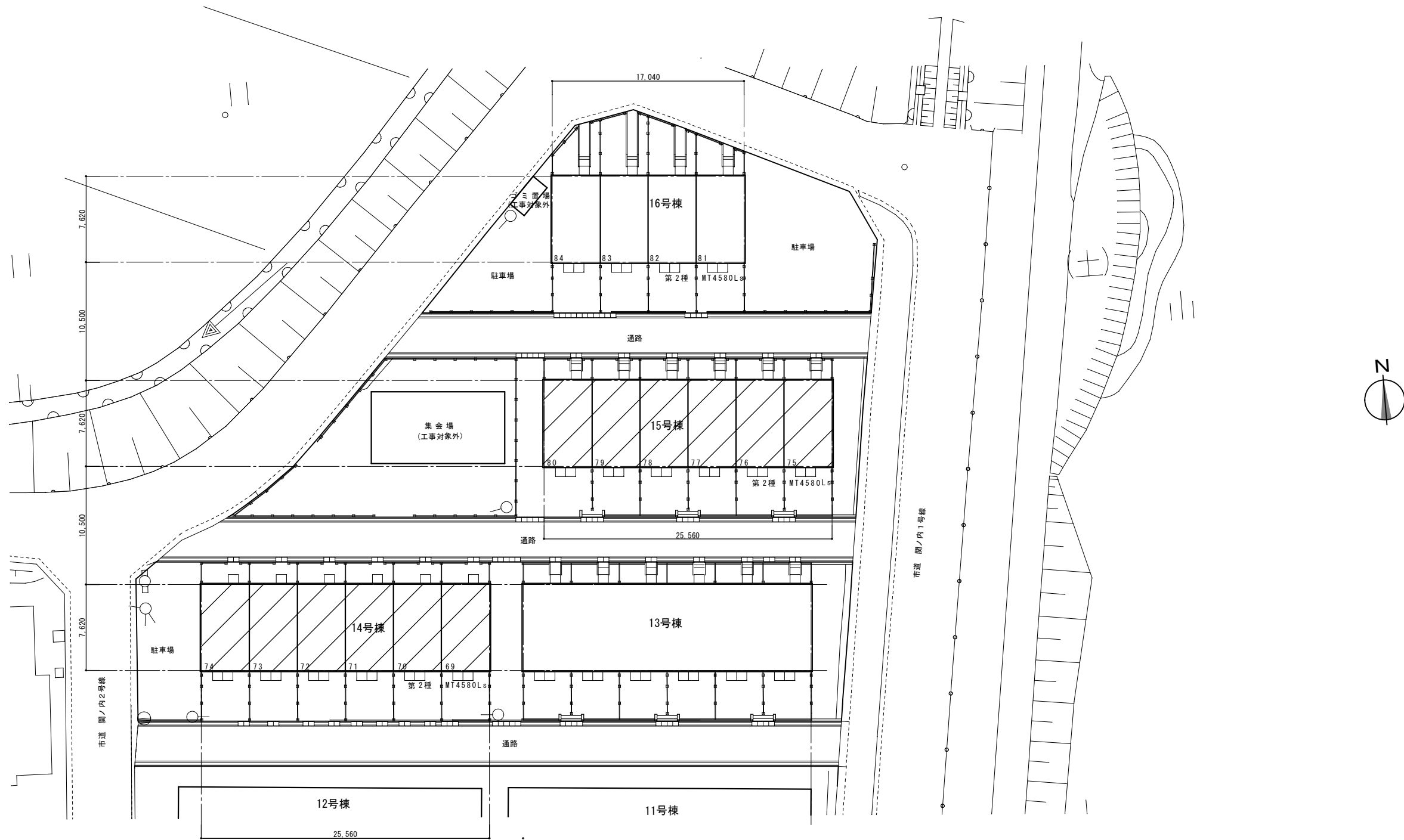
工事対象建物(14・15号棟)



案内図



団地配置図 1/500



配置図 1/200

- 特記
- 1) エアコン室外機：2階底上にあるものは一時取外し、再取付(12台)
 - 2) バラボランテナ（取付金具共）：2階窓手摺に設置してあるものは一時取外し後外部足場へ移動、再取付(7台)
 - 3) プロパンガスボンベ、換気扇、パナソニック吸排気用孔：既存のまま
 - 4) ガス・電気メーター：既存のまま
 - 5) 外壁に設置されている配線は一時取外し、再取付、配管については既存のままとする
 - 6) 外壁改修工事中は、サッシ養生を行うこと

基礎 コンクリート面

		北面	西面	南面	東面	合計	補修方法
[1]	ひび割れ	0.2mm未満					シール工法 パテ充填 ¹ 樹脂
[2]	ひび割れ	0.2mm～1.0mm以下					自動式低圧 ¹ 樹脂 注入工法
[3]	ひび割れ	1.0mm以上					ウレタン樹脂材充填工法 可とう性 ¹ 樹脂
[4]							
[5]	爆裂 鉄筋露出	100×400	6			6	
[6]	爆裂 鉄筋露出	300×350					
[7]	爆裂 鉄筋露出	600×300					充填工法 防錆処理後 ¹ 樹脂充填
[8]	爆裂 鉄筋露出	50×150					
[9]							
[10]	欠損						

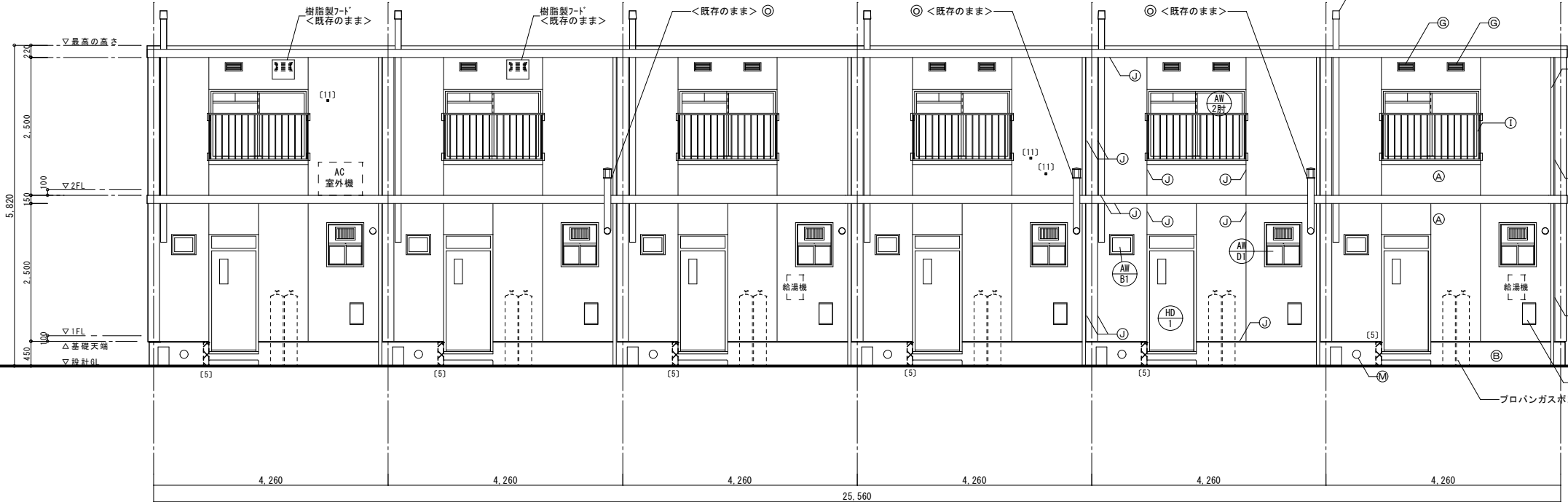
外壁 GRC面

		北面	西面	南面	東面	合計	補修方法
[11]	欠損	20×20	3	1	3	53	
[12]	欠損	200×400					充填工法 ポリマーモルタル ¹ 充填
[13]	欠損	200×550					
[14]	欠損	300×550					
[15]							
[16]							
[17]	爆裂 鉄筋露出	30×30	3	4	1	8	充填工法 防錆処理後 ¹ 樹脂充填
[18]	爆裂 鉄筋露出	50×50	1			1	
[19]							
[20]							

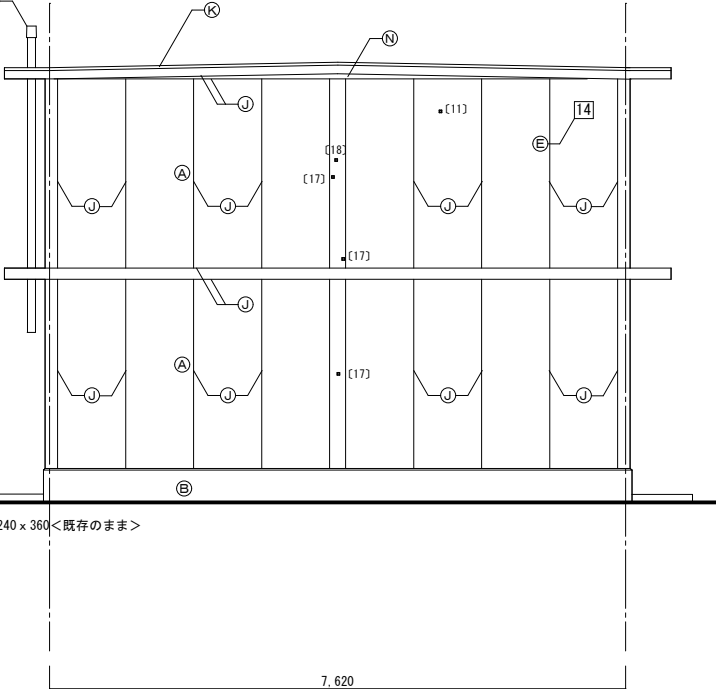
凡例

記号	仕上
Ⓐ	外壁：PC板 リシン吹付＜水洗い＞ 脆弱部はサンダーケレン＞
Ⓑ	巾木コンクリート打放＜水洗い＞ 劣化部補修
Ⓒ	縦樋：VU50φ 金物：FB（各階3か所）＜撤去＞
Ⓓ	臭突：VU管106φ 金物：FB＜撤去＞ 開口部モルタル詰め補修
Ⓔ	棟番号：アクリル板225×250＜撤去＞
Ⓕ	天井裏換気孔：樹脂製120×280＜既存のまま＞
Ⓖ	TVアンテナ金物：アンテナ支持金物＜撤去＞開口部モルタル詰め補修
※	未活用VHFアンテナ ＜撤去＞
①	窓手すり：7&製＜既存のまま＞
④	PC板目地シーリング（15×10）＜撤去＞ ※石綿含有
Ⓚ	アルミ製水切り金物＜撤去＞
Ⓜ	床下換気孔：樹脂製150φ＜撤去＞
Ⓝ	屋上水勾配用鋼材スプーサーtPL-1.6（妻部）＜既存のまま＞
Ⓢ	煙突 120φ＜既存のまま＞

※外部建具の躯体側シーリング（10×10）はすべて打替えとする。（石綿含有）
※VHFアンテナの撤去は、全住戸の現況使用状況を確認の上、未活用のを撤去とする。



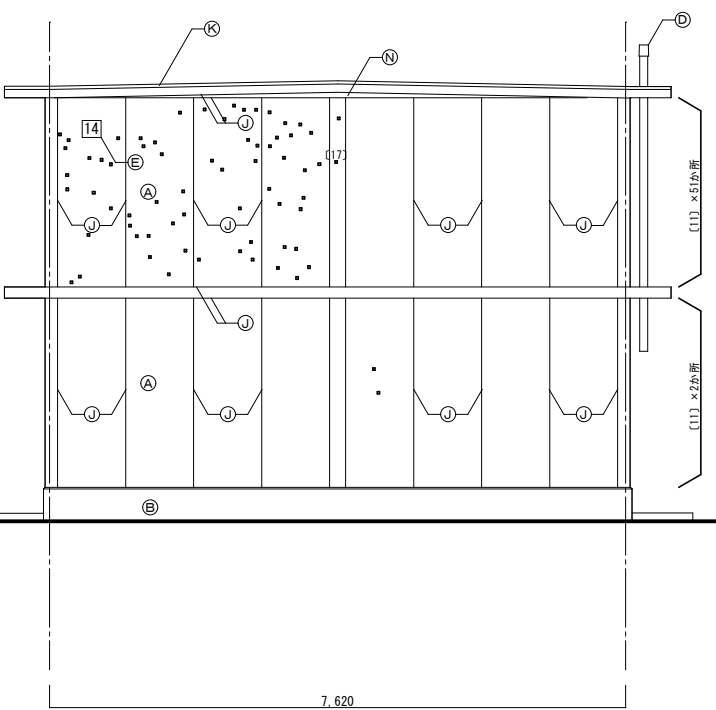
（改修前）14号棟 北立面図 1/50



（改修前）14号棟 西立面図 1/50



（改修前）14号棟 南立面図 1/50



（改修前）14号棟 東立面図 1/50

基礎 コンクリート面

		北面	西面	南面	東面	合計	補修方法
(1)	ひび割れ	0.2mm未満					シール工法 パテ状球 杉樹脂
(2)	ひび割れ	0.2mm～1.0mm以下					自動式低圧球 杉樹脂 注入工法
(3)	ひび割れ	1.0mm以上					Uカットシール材充填工法 可とう住球 杉樹脂
(4)							
(5)	爆裂 鉄筋露出	100×400	6			6	充填工法 防錆処理後球 杉充填
(6)	爆裂 鉄筋露出	300×350					
(7)	爆裂 鉄筋露出	600×300					
(8)	爆裂 鉄筋露出	50×150					
(9)							
(10)	欠損						

外壁 GRC面

		北面	西面	南面	東面	合計	補修方法
(11)	欠損	20×20		4		4	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填
(12)	欠損	200×400					
(13)	欠損	200×550					
(14)	欠損	300×550					
(15)							
(16)							
(17)	爆裂 鉄筋露出	30×30		1		1	充填工法 防錆処理後球 杉充填
(18)	爆裂 鉄筋露出	50×50	1			1	
(19)							
(20)							

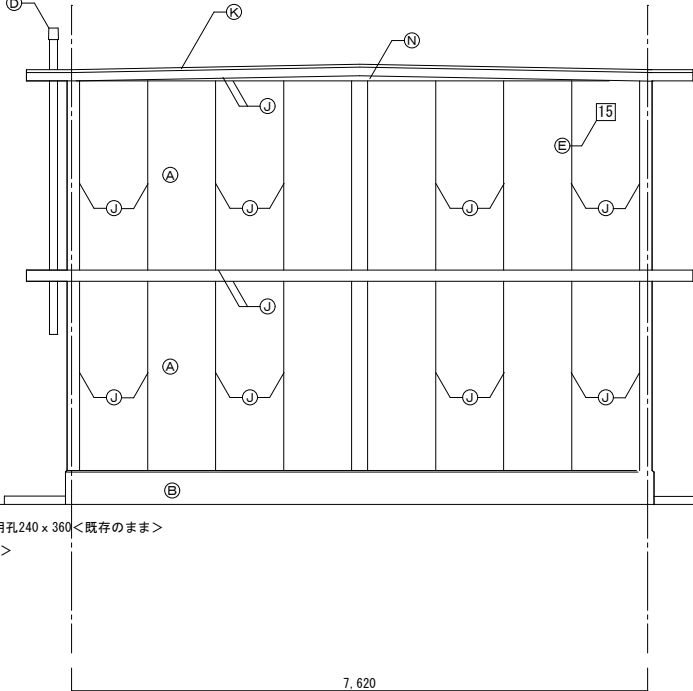
凡例

記号	仕上
Ⓐ	外壁：PC板 リシン吹付く水洗い 脆弱部はサンダーケレン
Ⓑ	巾木コンクリート打放く水洗い 劣化部補修
Ⓒ	縦樋：VU50φ 金物：FB（各階3か所）＜撤去＞
Ⓓ	臭突：VU管106φ 金物：FB＜撤去＞ 開口部モルタル詰め補修
Ⓔ	棟番号：アクリル板225×250＜撤去＞
Ⓕ	天井裏換気孔：樹脂製120×280＜既存のまま＞
Ⓖ	TVアンテナ金物：アンテナ支持金物＜撤去＞開口部モルタル詰め補修
※	未活用VHFアンテナ ＜撤去＞
①	窓手すり：7&M製＜既存のまま＞
④	PC板目地シーリング（15×10）＜撤去＞ ※石綿含有
Ⓚ	アルミ製水切り金物＜撤去＞
Ⓜ	床下換気孔：樹脂製150φ＜撤去＞
Ⓝ	屋上水勾配用鋼材スパーサーtPL-1.6（妻部）＜既存のまま＞
Ⓞ	煙突 120φ＜既存のまま＞

※外部建具の躯体側シーリング（10×10）はすべて打替えとする。（石綿含有）
※VHFアンテナの撤去は、全住戸の現況使用状況を確認の上、未活用の物を撤去とする。



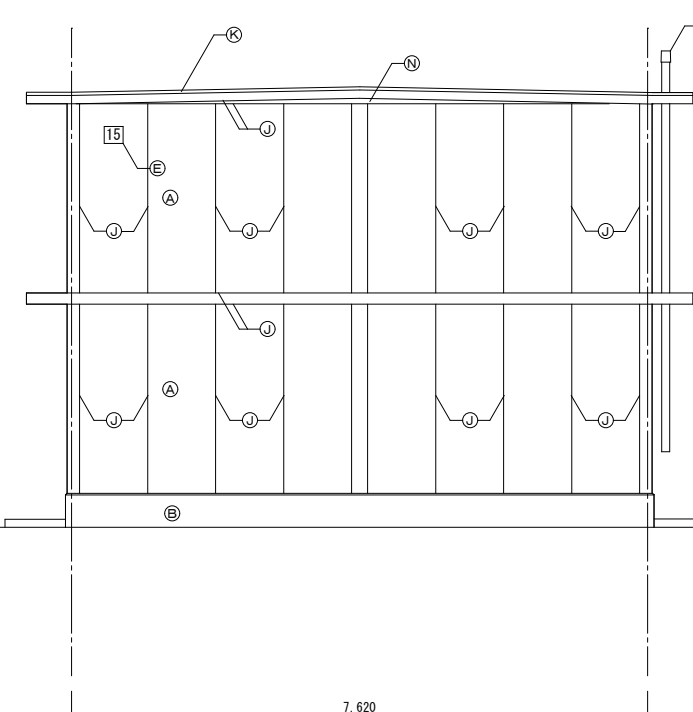
（改修前）15号棟 北立面図 1/50



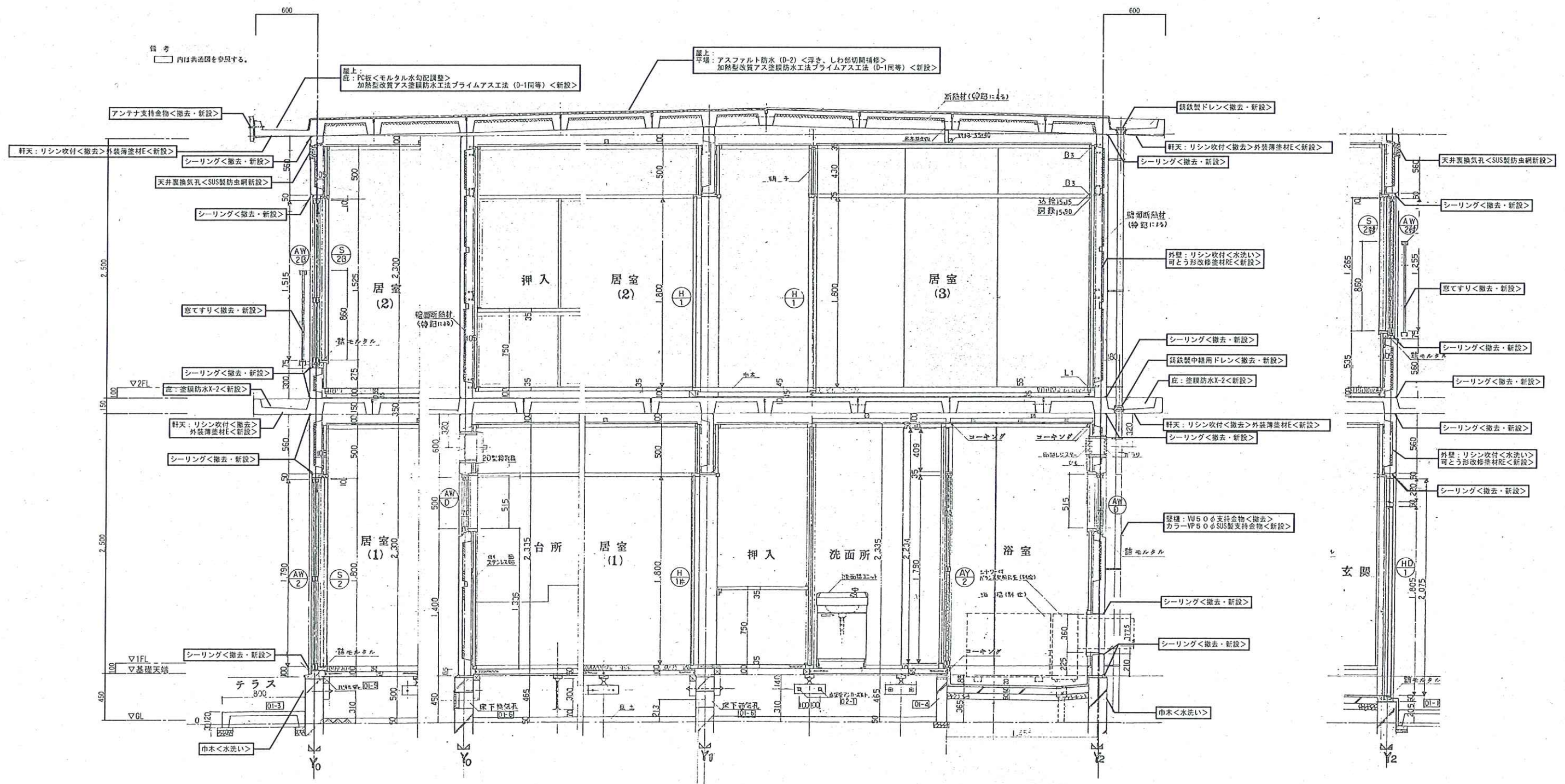
（改修前）15号棟 西立面図 1/50



（改修前）15号棟 南立面図 1/50

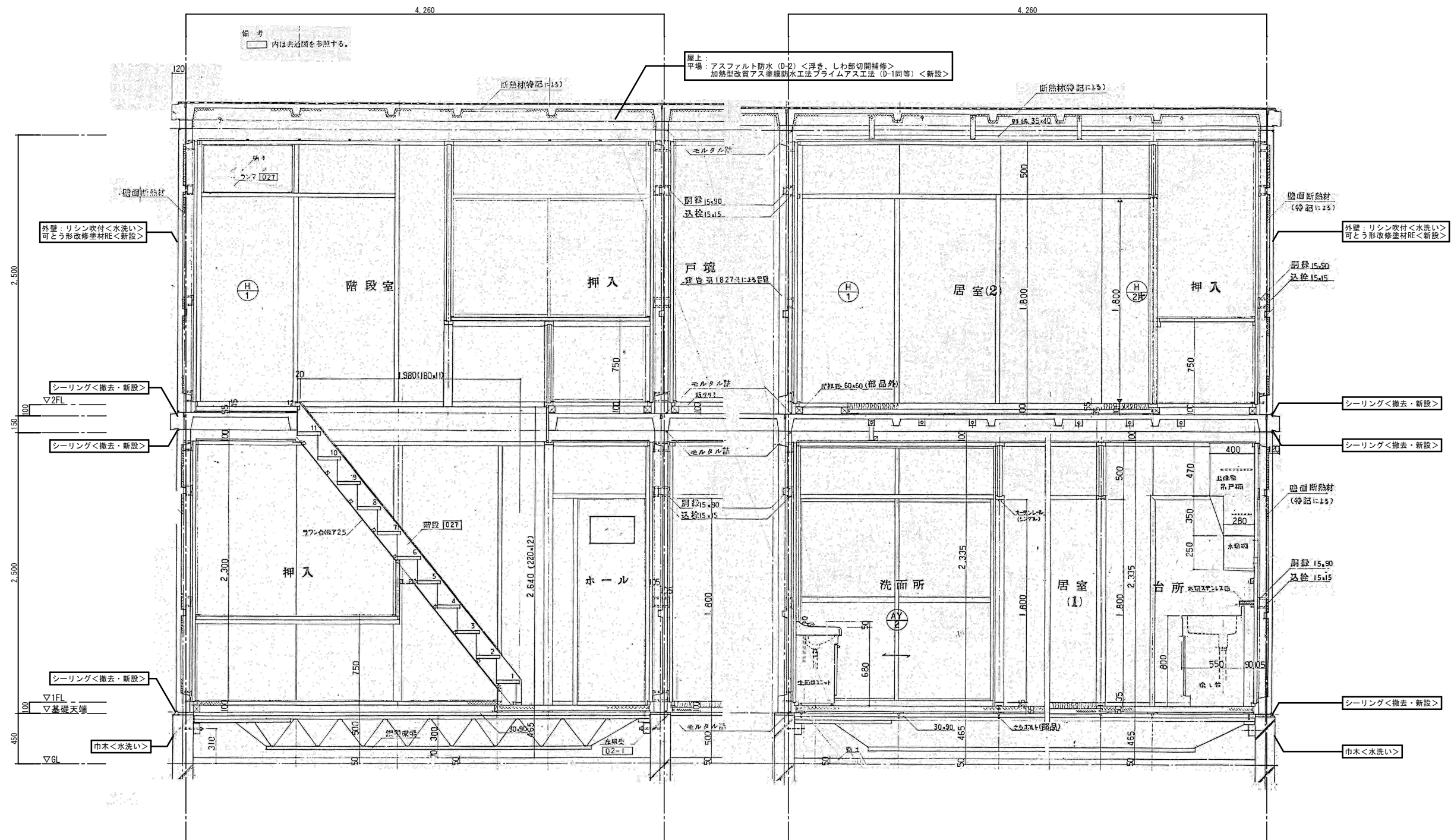


（改修前）15号棟 東立面図 1/50



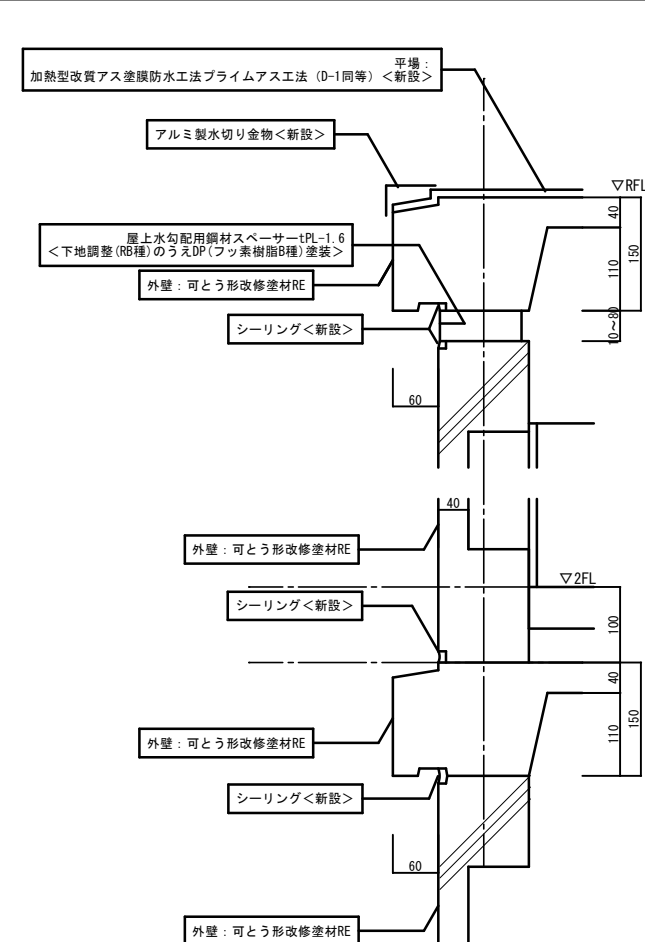
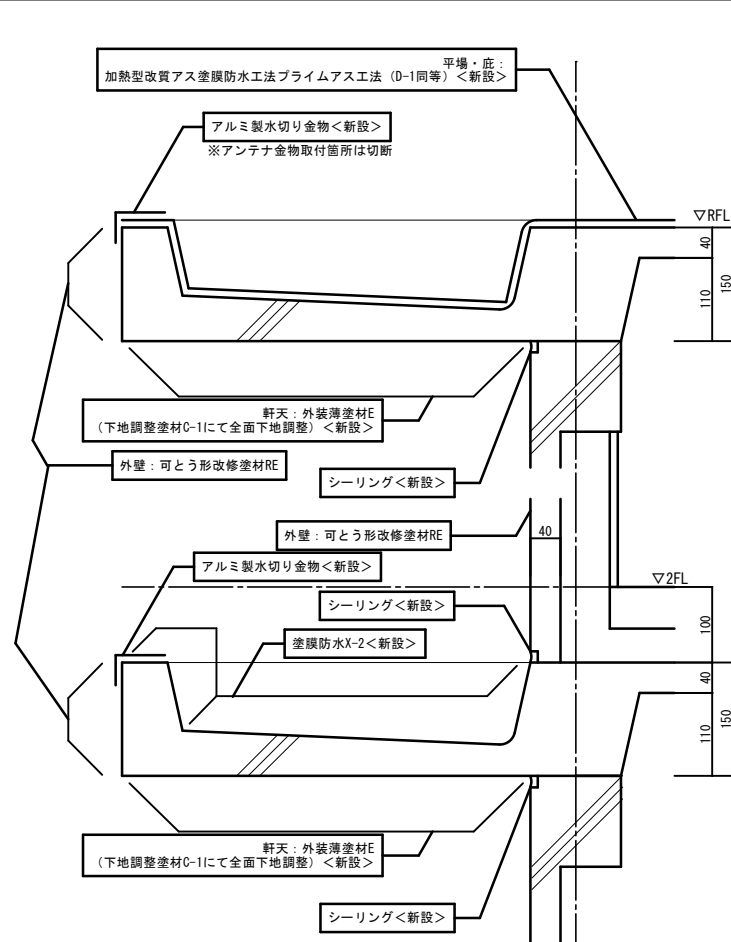
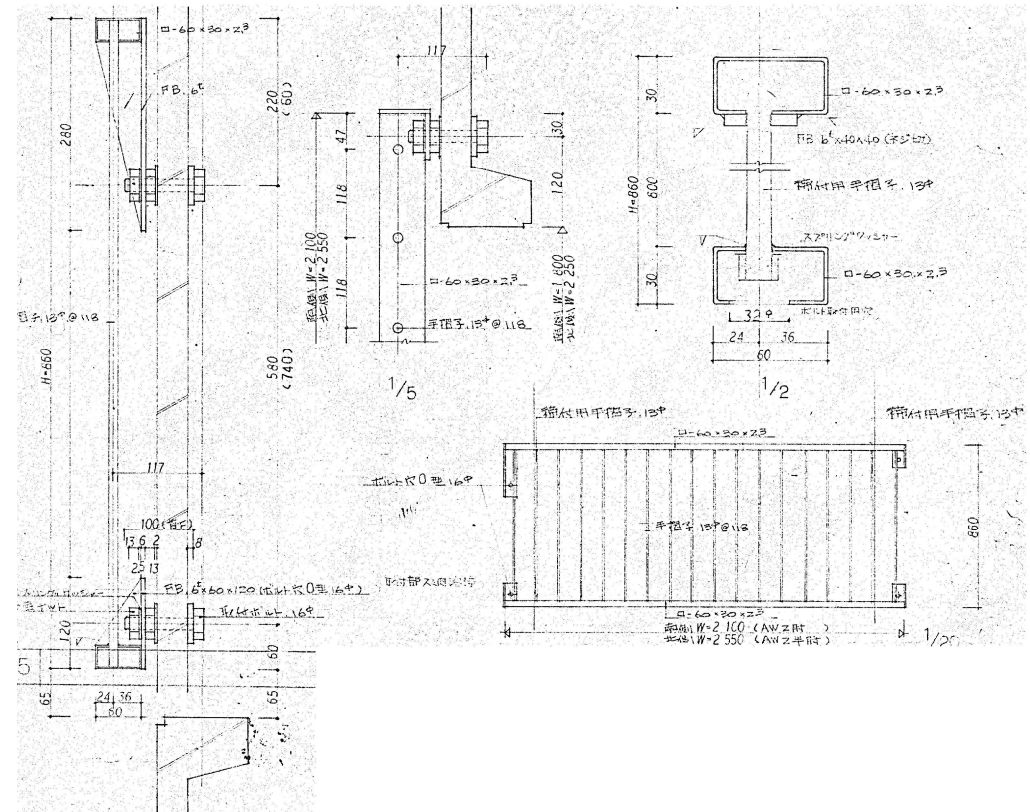
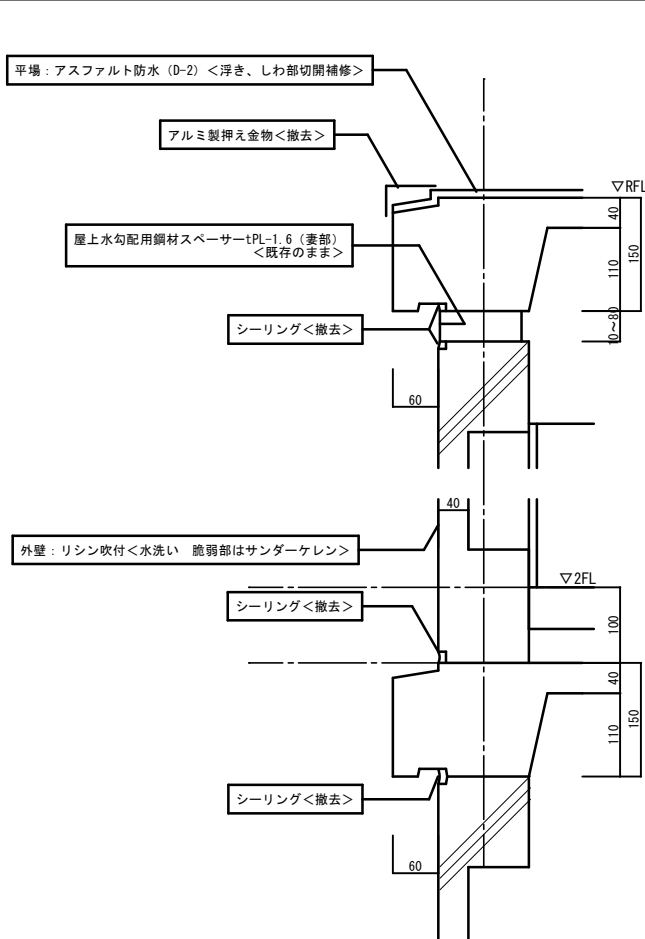
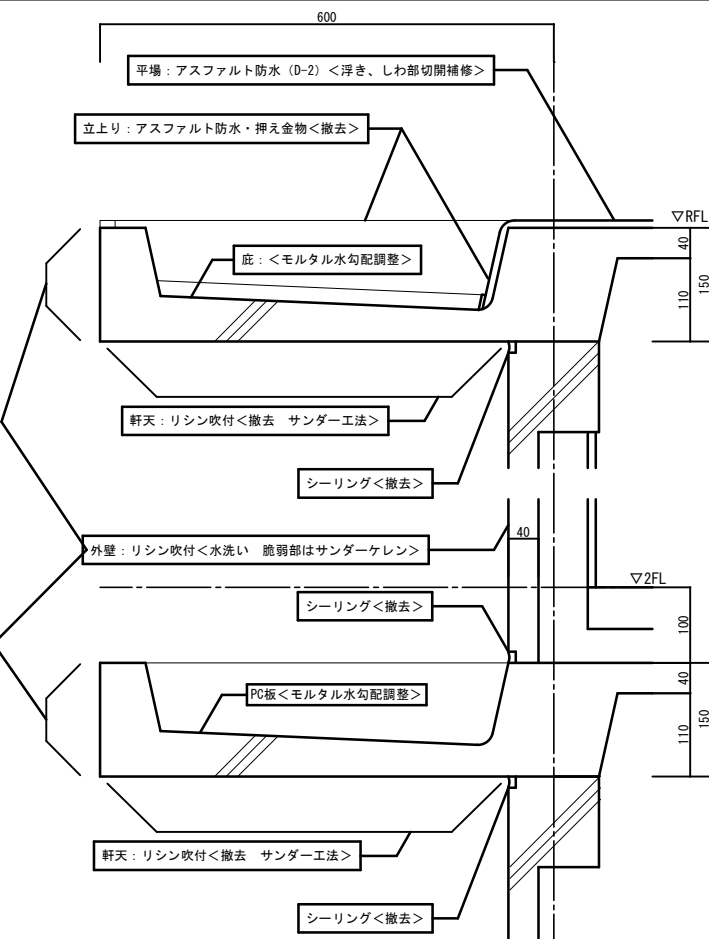
(改修前・後) 矩計図 (1) A-A 1/20

凡 例
□ : 改修工事対象を示す



(改修前・後) 矩計図 (2) B-B 1/20

凡 例
[Shaded Box] : 改修工事対象を示す



[illegible]

業 種	目 的	特 記 事 項
一	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県建設部第3号) ※ 宮城県建設工事条例、下関県建設工事条例(新整備) ※ 特殊工事実施指導要領(国土交通省大臣官庁告示第1号) 令和5年度 ※ 建設工事実施要領(国土交通省大臣官庁告示第1号) 令和5年度 ※ 建設工事実施要領(国土交通省大臣官庁告示第1号) 令和5年度
二	② 機 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、監修監理に指定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監修監理の承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工には、以下に「 <u>有資格者のシクハツマニュアル</u> 」に留意し、採擇を有資格者の裁量に任せるものとする。 ※ 使用する材料のヤルムルに上りには、日本産業規格及び日本建築規格のFヤルムル規格品、建築材料規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データベースにてホルムリン不使用が明示されたものとする。
三	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機材検査等を行う。監修監理の承認を受ける。 また、「建築材料・設備機材品質性能評価基準」(一社)公共建築協会より以下所要の品質・性能を有するものとする。この評価を受ける材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監修監理に提出するものとする。
四	④ 保 険	本工事着手前に工事目的及び工事材料等を、本工事を完了引渡し期日までで火災及びその他の保険に付し、写しを監修監理に提出する。
五	⑤ 雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇入れに努める。
六	⑥ 施工計画書、施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監修監理に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監修監理の承認を受ける。
七	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成に先立ち、官公署その他関係機関との関係(手続手続き等)は監修監理と協議の上、受注者が別途より処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
八	⑧ 施工条件	本工事の施工条件は、本工事の仕様書に定める。

他工事との工事区分

他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。

24. 保温、結露防止

外壁に面する壁、天井で FPP 板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。

25. 電線類

本工事で環境配慮の観点から、原則として EGM ケブルを使用するものとする。

26. 合成樹脂製可とう管

合成樹脂製可とう管は、P-F 管（一言管）とし、温度による分類はタイプ-25 とする。

27. 二種金属製可とう管

露出箇所
いんべい箇所

○

ニル被覆あり

●

ニル被覆なし

●

ニル被覆あり

●

ニル被覆なし

28. 電線本数、管径など

分電盤、制御盤、端子盤などの 2 次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受け変更してもさしつかえない。

29. インサート

鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。

30. 呼び線

長さ 1m 以上の連続しない電線管には、1. 2mm 以上のニル被覆鉄線を接続する。

31. フラッシュプレート

図面に特記なき場合、(※) 金属製（ステンレス・新金属も含む）・樹脂製とする。

32. フロアプレート・ベース

平・平高低調節打付（空転防止リグ付）・銅合金製・アルミ合金製

33. ハンドホール

県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。

34. 支持金物、固定金物

屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
また、振動がともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。

35. あと施工アンカー

施工方法
・ 接着系（※ 有機系・接着剤）
・ 金属圧入系（※ 本体打込式）
性能・施工確認
※ 行わない 行う

36. 接地極の種類・表示等

接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、E の長さは 1. 500mm とする。
ただし、D=1. 0 は 1. 000mm、W=3. 0 は 3. 000mm とする。
被接線端及び母線打込用接地極の増設は不要とする。

接 地 極 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の種類、数量
・ 常設被接線用接地	ELA	Ω 以下	EP × 2
・ 常設被接線用接地	ELA	Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一組
・ 共同接地	EA・E0・ELH	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ 共同接地	EA・E0・E0	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ A 種	EA	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ B 種	EB	Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 2
・ C 種	EC	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ D 種	ED	100 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 1
・			
・ 構内交換機（陽極）用	Et	Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一組
・ 本配線盤の保安装置	EAt	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ 電路引込口の保安装置	EDt	100 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 1
・ 地昇降電極	EDa	100 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 1
・ 防犯設置用	ES	Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一組
・			
・ 測定用	E0	—	EB (D=10又はW=30) × 1
・ 逆変器用（低圧用）	ELL	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ 逆変器用（高圧用）	ELH	10 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 通一2組
・ 逆変器用（モデム用）	EMD	100 Ω 以下	EB (D=14又はW=40) × 1
・ 構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

37. 総合調整

各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を出すこと。
・ 受変電設備・発電設備・照明装置・構内交換設備

38. 塗装工事

下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外 ※ 浴室

39. 山留め

切取り面にその箇所の上質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが 1. 5m を超える場合には、山留めを行うものとする。

40. 舗装工事

国土交通省大臣官庁官庁管理官庁整備の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）2. 2 章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）2. 2 章（舗装工事）による。

41. はつり

既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。

42. 再使用機器

再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうち、取り付ける。

43. 撤去後の修繕等

機器撤去後の平、壁及び床等の修繕は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復する。

44. アスベスト

アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告する（アスベスト使用状況）

45. 有害物質の取り扱い

P-CB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小型二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化装置等）の有害物質の含有を撤出前に確認し、監督職員に報告書を出すとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

1. 工事範囲

・ 配管・配線・分電盤類・機器類

2. 電気方式

・ 幹線 単相 3 線式 100/200V 50Hz
・ 分岐 単相 3 線式 100/200V
分岐 単相 2 線式 100V
幹線・金属管配線・ケーブル配線

3. 施工方法

分岐 電灯・合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線・その他（ ）
コンセント・合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線・その他（ ）
屋外露出・合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線
ボックス・合成樹脂製・金属製

4. 照明器具

LED・一体型・ダウンライト・その他

5. 防災用照明器具

・ 非常用照明器具（※ 電池内蔵形・電線別形）
・ 誘導灯（※ LED 誘導灯・誘導標識）

6. 照度測定

照度測定は、原則、本工事範囲外で行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。

7. ハイテンションアウトレット

※ 銅合金製・アルミ製
※ 飛び出し型・外部固定形

8. 予備配管

埋込分岐盤からの上り予備配管は、予備の配管用遮断器が 4 個以下の場合は（P-F 2）を 1 本、5 個以上の場合は（P-F 2）を 2 本以上、天井裏まで立上げる。
架下には配管・配線スペースのない壁には、1 スパンに V-E（3 6）2 本を予備スリーブとして埋込む。

1. 工事範囲

・ 配管・配線・制御盤類

2. 電気方式

・ 幹線 三相 3 線式 200V 50Hz
・ 分岐 三相 3 線式 200V

3. 施工方法

幹線・金属管配線・ケーブル配線・その他
分岐・合成樹脂管配線・金属管配線・その他
屋外露出・合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線
ボックス・合成樹脂製・金属製

4. 警報装置

※ 壁掛形（電源装置 ※ 内蔵・別置）

5. 電磁閉断器用押扣（遠方操作用）

※ 遠達用形配線器具

6. 機器への接続

電動機などへの接続は本工事とする。

7. 電動機等の接地

図示以外は金属管接地とする。

8. 連相用コンデンサ

各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

9. 電気自動車用充電装置

・ 機器類
・ 普通充電装置 電圧 相 V・屋外型・屋内型
・ 急速充電装置 直流電圧 V

1. 電気方式

分岐 相 線式 V 50Hz
幹線 相 線式 V

2. 施工場所及び面積

・ (㎡) ・ (㎡)

1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
2. 監視制御対象設備	・ 動力設備	・ 受変電設備	・ 発電設備	・ 火災報知設備
3. 表示操作装置	・ 監視操作装置	・ 監視機器	・ 表示機器	・ 監視機器
4. 監視制御装置	構成機器	・ グラフィックパネル	・ 内蔵式液晶ディスプレイ	・ 操作装置
		・ 信号処理装置	・ 伝送装置	・ 分散処理装置
		・ 補助記憶装置	・ 記録装置	・ 電源装置
		・ 横風用印字装置	・ インジェクション式	・ 写真式
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線	・ 機器類	
2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz			
	・ 低圧 三相3線式 200V			
	・ 低圧 単相3線式 100/200V			
	・ 低圧 単相2線式 100V			
3. 布設方法	※ 地中埋設式 (FEP ・ 厚鋼電線管 ・ GLT)	・ 架空線式		
4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器	※ 一般用	・ 耐重塩じん用	
	・ 避雷器	※ 地絡線電圧付き (※ 方向性 ・ 無方向性)		
	・ 高圧カットアウト、がいしなど	※ 一般用	・ 耐雨用	
5. 高圧ケーブルの 端末処理	屋外側 ※ 一般用	・ 耐塩用		
	※ 処理箇所銘板附付 (屋内外共、線名、作業日、氏名を表示)			
6. その他	東北電力 (株) 外線工事基準 (架空線編) に準ずる。			
	地中埋設設置に高圧ケーブルを敷設する際は、原則として E ケーブルを使用する。			
7. 外灯設備	・ 定格電圧	V	W	
8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。			
9. 標識シート	・ 高圧ケーブル	・ 低圧ケーブル		
10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管 (FEP100:1本) を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管 (FEP80:2本) を設ける。			
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線		
2. 用途	・ 電話用	・ 時計、拡声用	・ 火災報知用	
3. 施工方法	※ 地中埋設式 (FEP ・ 厚鋼電線管 ・ GLT)	・ 架空線式		
4. 標識シート	※ 弱電用			
1. 特記事項	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式「建設物処理計画表 (施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②解体品一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式 2-2 建設物処理計画表 (解体品調査表)」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある解体品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得たうえで処理・処分すること ④解体品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式 2-3 建設物処理計画表 (最終)」として監督職員に提出すること			

表 2 「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりたい場合は監督員と協議する。

名 称	電 力	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)
取引用計器		地上～電中心	約 1,200	引込線管の高	地上～引込点	
引込開閉器		床下～電中心	1,800～2,200	集電保安器箱	天井下～上端	200
分電盤		床下～電中心	1,500 (上端1,900以下)	端子箱 (廊下、室内)	床下～下端	300
				※ (E P S 等) 床下～電中心	1,500	
				話 壁付アウトレット (一般)	床下～電中心	300
				※ (和 室)		150～200
スイッチ (一般)		床下～電中心	1,300	時計 壁掛け時計計	床下～電中心	1,500 (上端2,000以下)
※ (和 室)			1,200	計 子時計計		2,300
コンセント (一般)			300	計 壁掛けスズビカ		2,300
※ (和 室)			150～200	拡 壁付インターネータ		1,300
※ (台 上)		台上～上端	100	声 壁付インターホン (一般)	床下～電中心	1,300
※ (ファン用)		床下～下端	ファン下端	※ (身体障害者)		1,300
※ (座 席)		床下～上端	800～1,000	通 壁付アウトレット (一般)		300
※ (車 庫)			1,300	※ (和 室)		150～200
※ (機 庫)			500～1,000	設 機器収容箱	天井下～上端	200
※ (土 間)			800～1,300	構 直列ユニット (一般)	床下～電中心	300
ブラケット (一般)		床下～電中心	2,100～2,200	※ (和 室)		200
※ (機 庫)			2,000～2,500	表 表示盤	床下～電中心	2,300
※ (機 上)		機上端～下端	150	報 壁付受信機		1,300
近開口誘導灯		床下～下端	1,500以下	・ ベル、プザー、チャイム		2,300
廊下通路誘導灯		床下～上端	1,000以下	表 壁付押しボタン (一般)	床下～電中心	1,300
				※ (身体障害者玄関)		900
動 壁掛け制御盤		床下～電中心	1,500 (上端2,000以下)	受電機	床下～電中心	800～1,500
力 開閉器箱			2,000	耐炎機箱		800～1,500
カ 電磁閉鎖制御用ボタン			1,300	機器収容箱		800～1,500
非常ボタン (警用)		床下～電中心	400、800	火 警発信機		800～1,500
壁付インターホン (観機)			1,300	報 表表示盤	床下～電中心	2,100
※ (玄関用機)			1,100	知 ベル		2,300
※ 表表示灯 (復旧ボタン付)			1,300	器 液体石炭ガス用検知器	床下～上端	250
※ 表表示灯 (常照ボタン付)			1,500	※ 都市ガス用検知器 (経費)	天井下～上端	150
スイッチ			1,100	※ (電費)	床下～上端	250

表 1 「完成書類」 引き渡し時には下記の書類を提出する。

名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成調査書	宮崎工事完成引渡要領 (令和7年4月1日版)	1部	6 管理の手引き	A4版：チューブ式ファイル	1部
2 完成図 (縮小)	白図縮小製本 A3版2つ折り うち1部は設備課保管	2部	①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
3 完成図、施工図 (電子データ)	JWJ又はDX形式のCADデータ及び PDF形式	C2枚	7 工事写真	A4版：チューブ式ファイル (着手前、施工状況、完成の各写真)	1部
4 機器完成図	A4版：製本	1部	②完成写真	A4版：ペーパーファイル 完成図に添付	1部
①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場検針試験成績書 ⑦総合試験報告書			8 工事に関する書類	A4版：チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書	A4版：製本	2部	①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事遅延又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理履歴の写し ⑨官公庁へ提出書		
①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種誘導書			9 工事に関する承諾 確認書		

注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を
参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等もしくはそれ以上の
ものを使用するものとする。

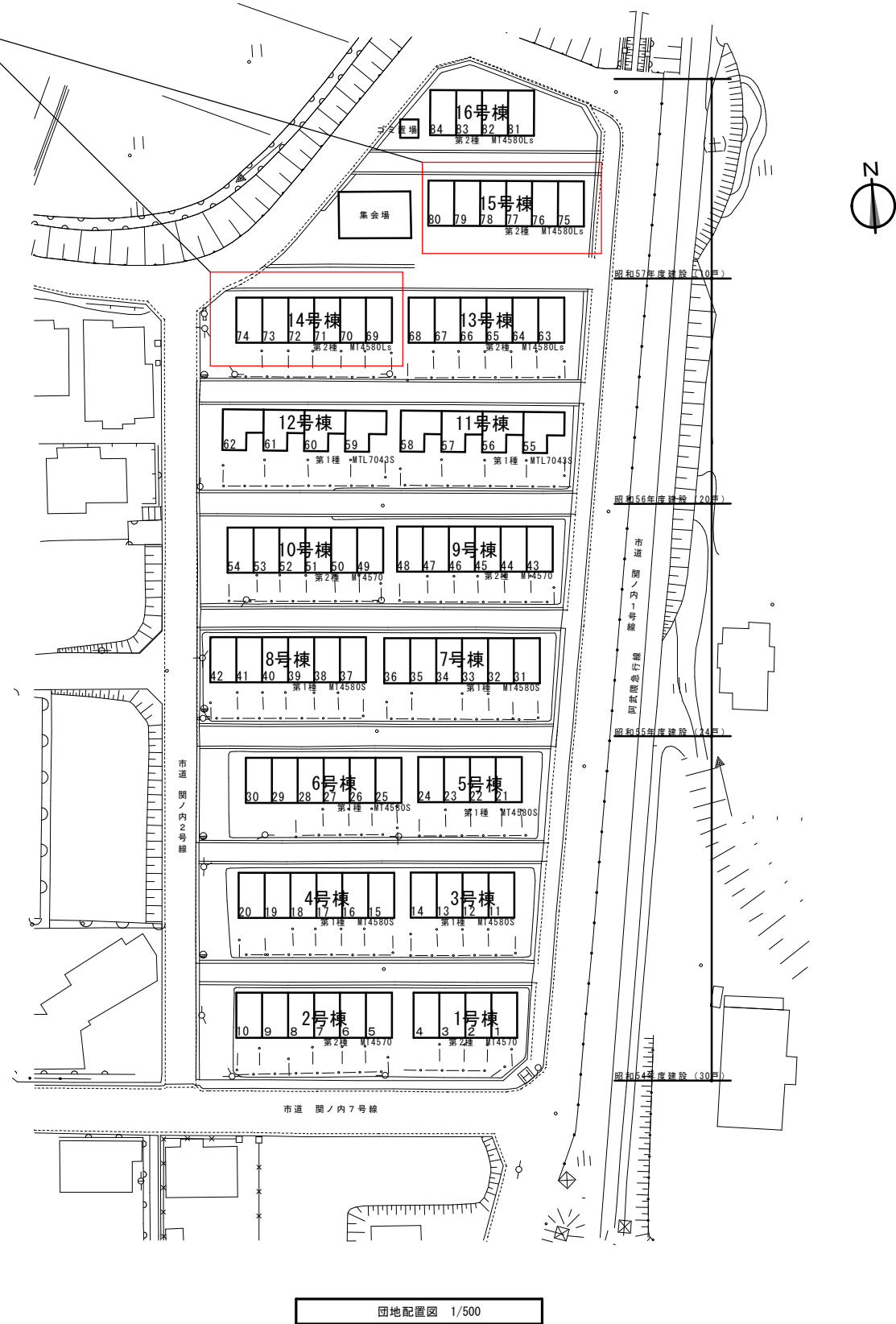
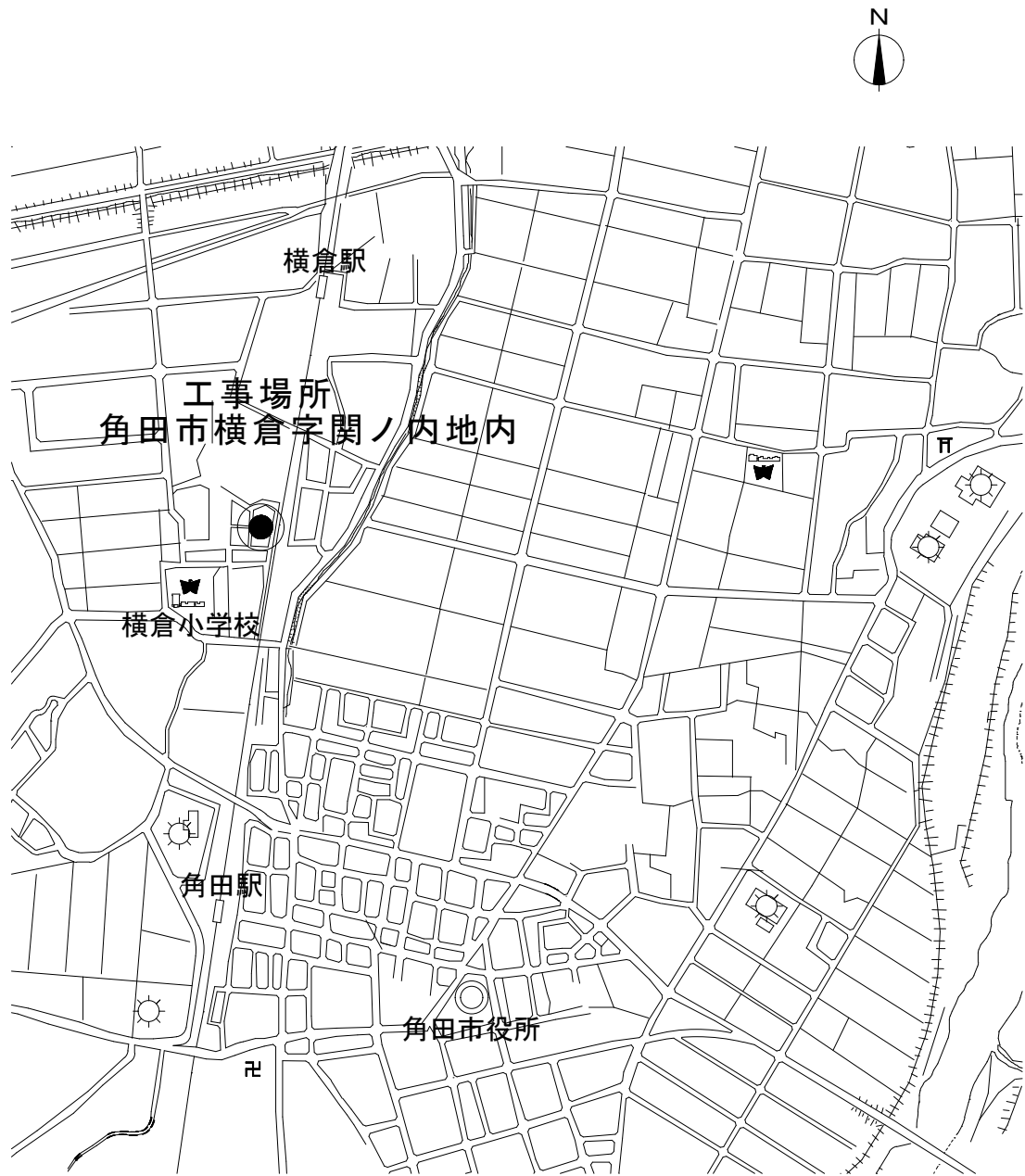
全 案

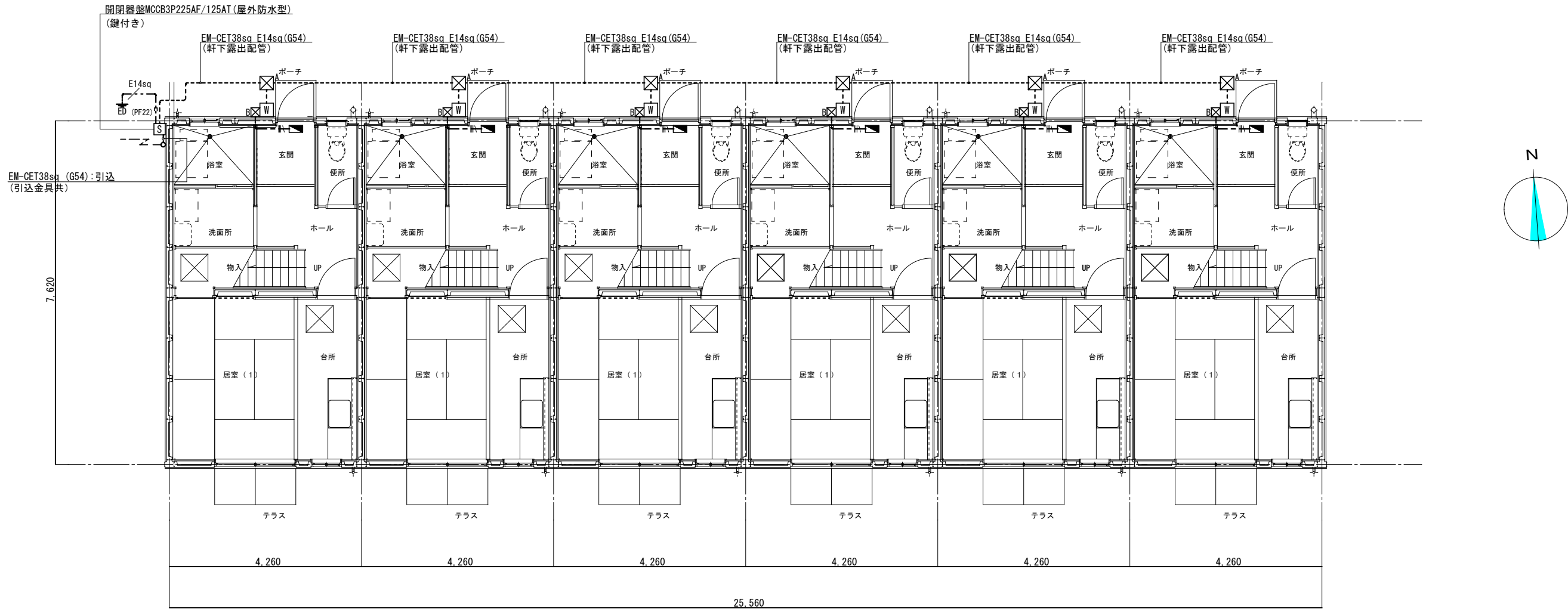
図面番号

改修工事

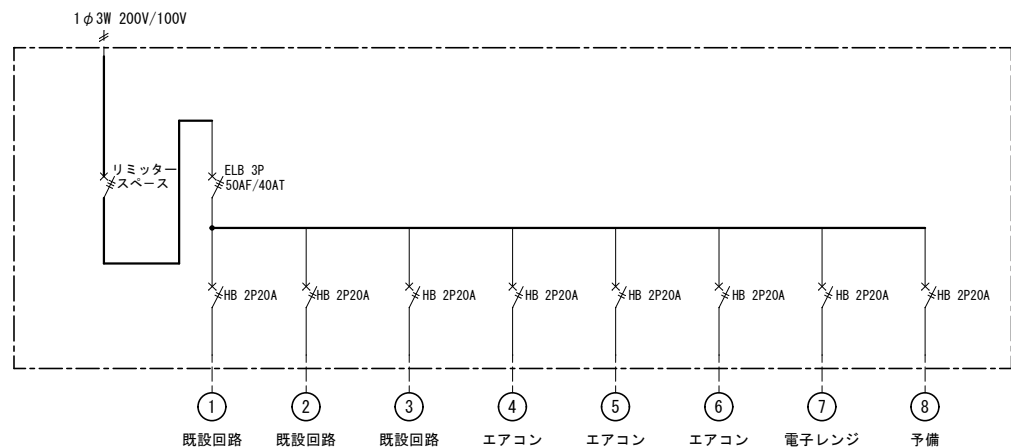
E-01

工事対象建物(14・15号棟)





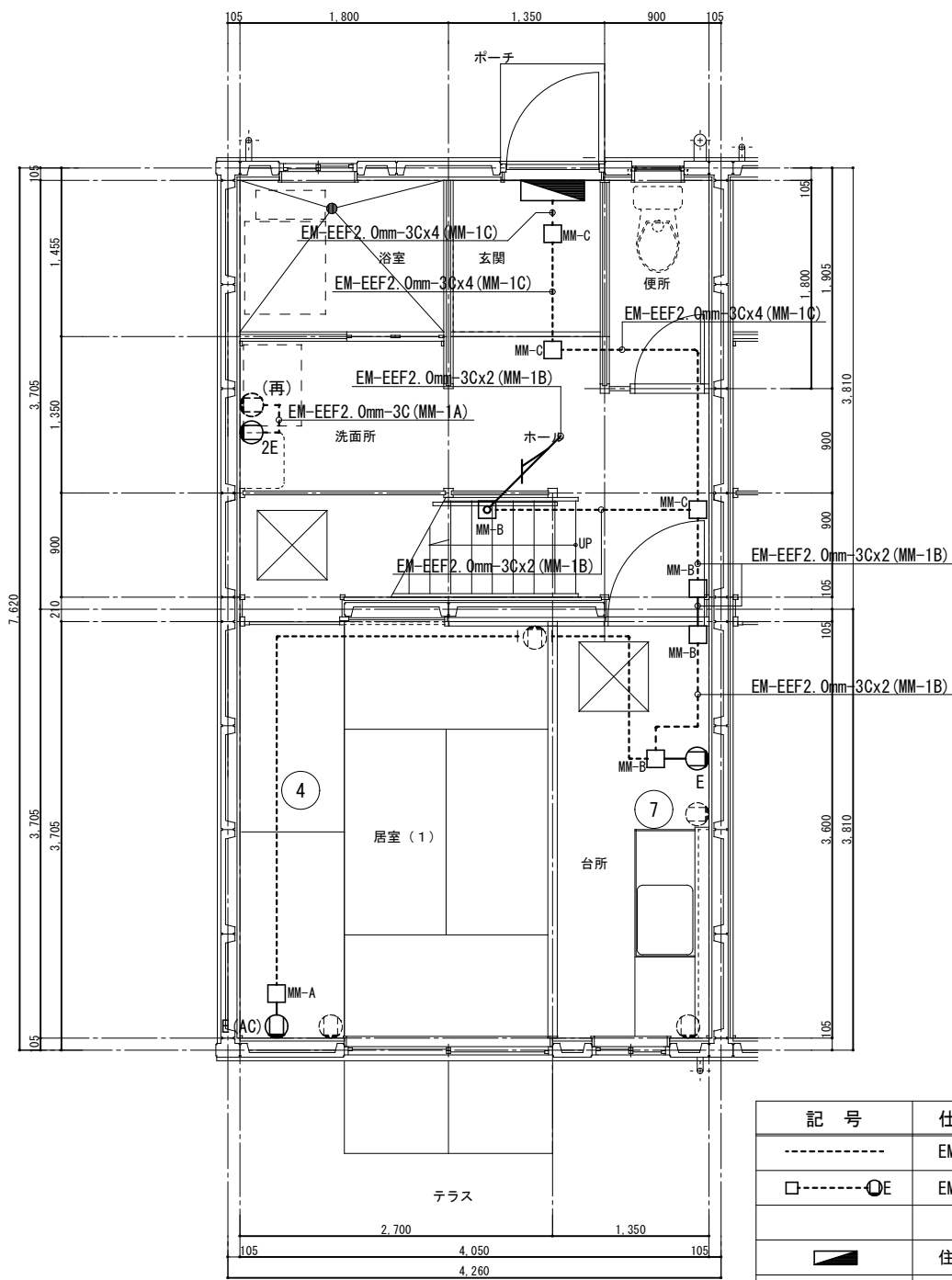
(改修後) 14~15号棟 1階平面図 1/50



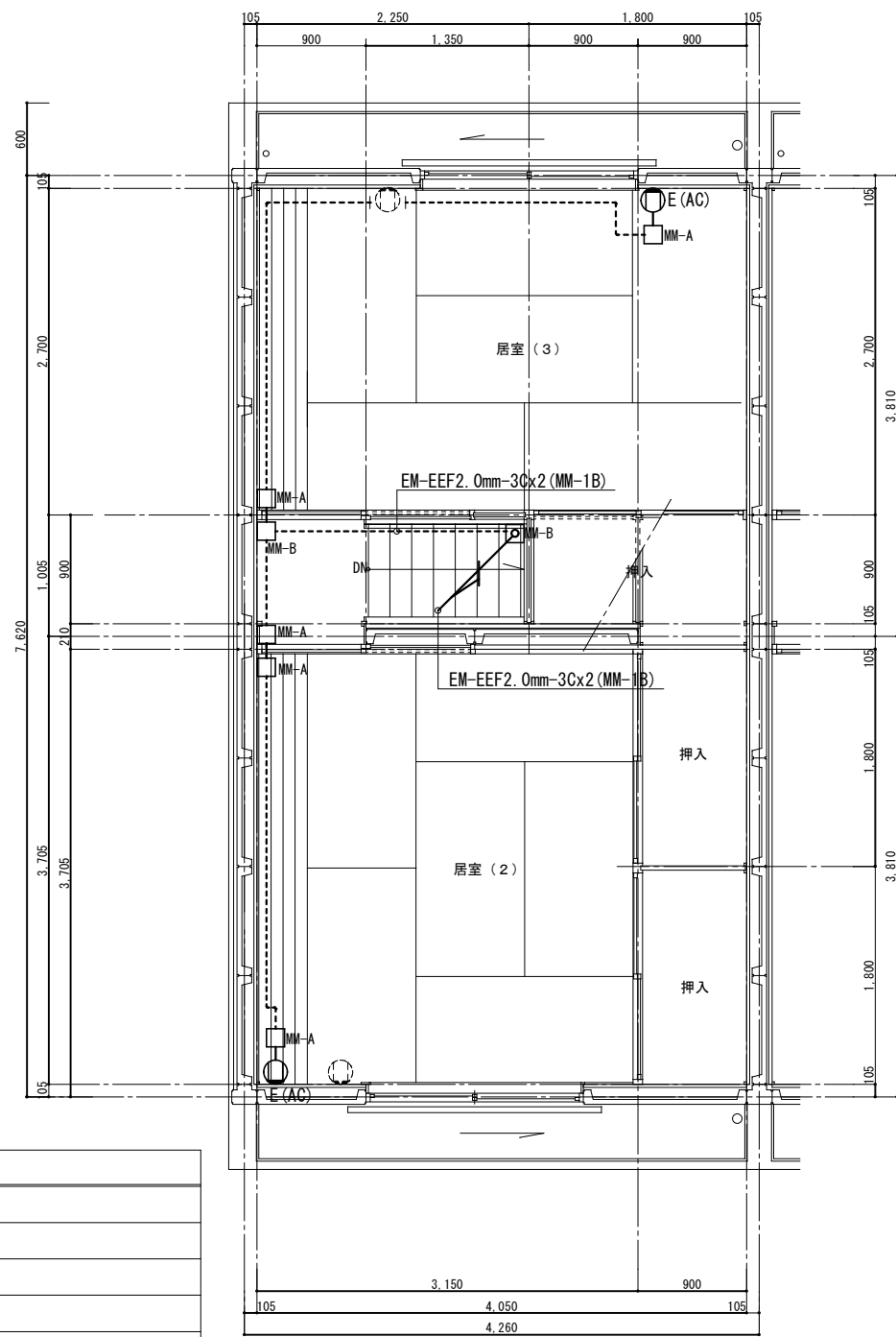
住戸盤(樹脂製)(新設)

記号	仕 様	備 考
W	積算電力計 1φ3W 40A(ボックス共)	東北電力貸与品
■	住戸盤 (樹脂製)	盤図参照
-----	EM-CET14sq E5.5sq(G28)+(F30)WP	引下げ部分
—+—	EM-CET14sq E5.5sq(天井内)	
⊠A	PBSS300□x200(WP) SUS	
⊠B	PBSS200□x200(WP) SUS	

注記：住戸内幹線の引込は既設開口を使用する事



1階平面図 1/30



2階平面図 1/30

記 号	仕 様
-----	EM-EEF2.0mm-3C (MM-1A)
□-----○E	EM-EEF2.0mm-3C (MM-1A)
▲	住戸盤 盤結線図参照
○E	埋込コンセント 2P15AEx1 金属プレート メタルモール用ボックス共 H=1800
○2E	埋込コンセント 2P15AEx2 金属プレート メタルモール用ボックス共 H=1200
○E (AC)	埋込コンセント 2P15AEx1 金属プレート メタルモール用ボックス共 H=2100
□MM-A	メタルモール用コーナボックス A型
□MM-B	メタルモール用コーナボックス B型
□MM-C	メタルモール用コーナボックス C型
○(再)	既設埋込コンセント 2P15AEx2 メタルモール用ボックス共 (取外し再取付)
○	既設埋込コンセント (既存のまま)

注記1：既設回路の配線は既設住戸盤撤去し新設住戸盤を設置後に配線を接続する事
注記2：コンセントの取付高さは現場打合せとし参考とする。

